

『災害とメンタルヘルス』

◇講師:野田哲朗 先生 大阪府立精神医療センター医務局長

◆日時:2014年3月15日(土) 14:00~17:00

◆場所:サムティフェイム新大阪 4階G会議室

大阪市淀川区西中島6-5-3 TEL06-6885-9000

(地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』、阪急京都線『南方駅』徒歩5分、JR『新大阪駅』徒歩10分)

※2単位申請中

全国各地で災害による多くの被害が発生する中、被災者の方々のこころのケアへの取り組みも求められてきています。

今回は、これまで多くの被災者の方々への支援活動を精力的にされてこられた野田先生から、

災害時におけるこころのケアについてご講義をいただきます。

この機会にぜひご参加いただき学びを深められますよう、ご案内申し上げます。

《野田先生からのメッセージ》

死者、行方不明者、震災関連死をあわせ2万人以上の犠牲者を出した東日本大震災の被災地はトラウマに満ちています。津波被害を生きる人々はPTSD症状、サバイバーズギルトに苛まれていますし、福島県では、今なお拡散する放射能に怯え、県内外に避難を余儀なくされている15万人近くの被災者がいらっしやいます。そして、被曝は新たな差別事象となりました。

被災者の方々の心身の苦悩は察して余りあるものがありますが、主な被災地となった東北沿岸部は、精神医療サービス、人材が乏しいばかりでなく精神疾患への偏見があり、こころのケアはたやすいことではありません。

そして、時間経過とともに肥厚する被災地内外の隔壁が被災者の苦悩を見えにくくし、トラウマからの回復を阻害しようとしています。

3・11から3年経とうとしている今、皆様とともに被災地への思いを新たなものにできればと願っております。

【講師紹介】

1984年大阪医科大学卒業後、精神医療、公衆衛生行政に携わり、災害時のこころのケアに従事。

現在、大阪府立精神医療センター医務局長。

2013年、七星哲のペンネームで小説「ソムニジンの夢」(文芸社)刊行。